

1 基本構想

「基本構想」は、長期的な視点から市の目指す将来像やまちづくりの目標を定めたもので、「将来像」と4つの「基本方針」で構成されます。基本構想は2045年を見据えた長期的なビジョンであることから、普遍的な内容とし、具体的な政策や指標などは、基本計画に示します。

(1) 恵那市の魅力と20年後の理想の姿



高校生ワークショップ

恵那高校1年生(120人)、恵那南高校1年生(6人)の皆さんと一緒に、これからの恵那市のまちづくり、20年後の理想の恵那市について話し合いました。

This section displays the ideas generated by high school students during a workshop. It includes photos of students working and a list of their suggestions.

高校生の皆さんのアイデア

- 産業と観光が発展し、活気に満ちたまちになってほしい！ (We want industry and tourism to develop, making the town full of vitality!)
- 移住者がたくさん集まる魅力的なまちになったらいいな (It would be nice if it became a charming town where many people move here.)
- リニアを効果的に活用しなきゃ！ (We have to effectively use the Shinkansen!)
- 使っていない土地や空き家を有効活用できないかな...？ (Can we effectively use unused land or vacant homes...?)
- 交通アクセスや住宅環境がもっと良くなったらいいな (It would be good if transportation access and living environment were better.)
- 若者が遊びに行く場所や飲食店が増えてほしい！ (We want more places for young people to go out and eat!)
- 各地域のお祭りなどの文化を残していきたい (We want to preserve the culture of local festivals, etc.)

(2) 20年後の将来像

自然とともに ひととまちが輝く 活力あふれる恵那

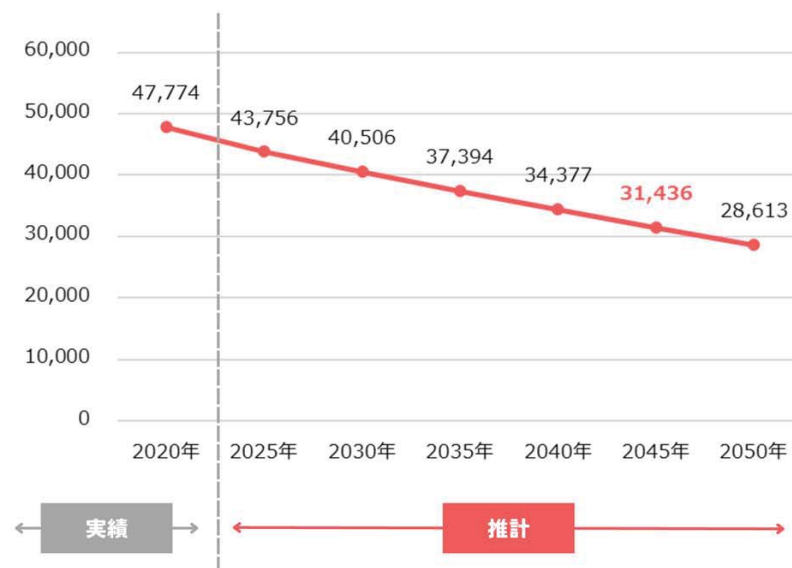


市民から寄せられた意見では、**世代を問わず「自然」**に関するものが多く、「豊かな自然が恵那市の自慢」や「自然との共生を大切にしたい」という声がありました。理想の将来像については、「子育てしやすいまち」や「老後も安心して暮らせるまち」といった「人」や「くらし」に関する希望とともに、「**便利な道路・公共交通**」や「**災害への備え**」といった「まちづくり」に関する意見もありました。また、若い世代からは「**産業・観光の発展・活力**」や「**まちの活性化**」を求める声が多かったことから、恵那市の**豊かな自然を守り、活かしながら人とまちが輝く活力あふれるまちの実現**を目指そうという願いを込めました。



(3) 人口フレーム

人口減少、少子高齢化が続く中、本計画の基本構想の最終年度となる2045年の総人口は約3.1万人となることが推計されています。本計画に基づく様々な取組の推進により、出生率の向上や若年層の転出超過を改善することで、人口減少を緩やかにしていくとともに、人口が減少したとしても、誰もが住み慣れた地域での生活を継続し、幸せに暮らせるまちづくりに取り組めます。



令和2年（2020年）国勢調査の実績値および社人研による推計をベースとしたコーホート要因法（※）による推計を行いました。



※コーホート要因法：各コーホート（＝同じ年または同じ期間に生まれた人々の集団）について、「自然増減」（＝出生と死亡）および「純移動」（＝転入と転出）の2つの「人口変動要因」それぞれについて将来値を仮定し、それに基づいて将来人口を推計する方法

(4) 基本方針

自然を守り、活かしながら、将来像を実現するため、4つの「基本方針」を設定します。
各基本方針における具体的な取り組み（政策、施策）および目標指標は、「基本計画」に定め、4年ごとに見直していきます。

自然とともに

ひとが
輝く

基本方針1 未来を担うひとを育む

- ・安心して子どもを産み育てられるための支援の充実を図ります
- ・郷土愛や生きる力を育む教育の環境が充実したまちを目指します
- ・誰もが生涯にわたり学び続けられるまちを目指します



例えば... 子育て / 保育 / 教育 / 生涯学習 / スポーツ / 文化 など

自然とともに

ひとが
輝く

基本方針2 安心・健康に暮らせる

- ・行政と地域の連携による高齢者福祉、障がい者福祉などの充実を図ります
- ・市民自らが健康づくりに励み、健康に暮らせるまちを目指します
- ・命と健康を守る救急・地域医療体制の確保を図ります



例えば... 救急 / 医療 / 高齢者福祉 / 障がい者福祉 / 健康増進 など



自然とともに

まちが
輝く

基本方針3 安全・快適に暮らせる

- ・暮らしを支える都市基盤・インフラの計画的な整備を進めます
- ・便利で使いやすい公共交通の整備を進めます
- ・災害に強い安全なまちを目指します



例えば... インフラ整備 / 公共交通 / 環境 / 防災 / 防犯 / 災害対策 など



自然とともに

活力
あふれる

基本方針4 活力・魅力を生み出す

- ・商工業・観光業の活気を生み出します
- ・農業・林業の振興を進めます
- ・多くの人が交流し合う魅力あるまちを目指します



例えば... 商業 / 工業 / 観光業 / 農業 / 林業 / 地域自治 など



この他にも、SDGs、リニア活用 など分野横断的な体制で
重点的に取り組むことについては「基本計画」に示していきます。



(5) 土地利用構想

目指すまちの将来像の実現に向けた、土地利用の方向性を示します。

エリア

市域を地勢の特徴に応じて「市街地エリア」、「自然共生エリア」、「開発誘導エリア」の3つのエリアに区分し、めりはりのある土地利用を推進します。

市街地エリア	多様な都市機能を有する地域。住居系、商業系の用地として整備を進め、魅力とにぎわいあるエリアを形成します。
自然共生エリア	優良な農地や自然環境、景観を適正に保全するとともに、ゆとりある住環境を形成します。
開発誘導エリア	リニアや、JR、高速道路などの立地特性をいかし、計画的に道路・住宅・産業立地といった開発を進めます。

拠点

施設や店舗などの機能が集まる場所や各振興事務所の周辺の場所などを「拠点」と位置付け、拠点同士が機能を補完し合いながら、暮らしの機能を維持します。

都市拠点	商業施設などの都市機能を集積させ、恵那市全体の中心的な役割を果たす拠点として整備を進めます。
地域拠点	日常生活を送るうえで必要な機能の維持・集積を図り、各地域のまちづくりの拠点として整備を進めます。

軸

道路や鉄道など、市内の拠点同士、市内と市外の広域的な連携・交流の軸となる交通ネットワークの構築を推進します。



土地利用構想のイメージ図



エリア	市街地 :	自然共生 :	開発誘導 :
拠点	都市拠点 :	地域拠点 :	
軸	交通ネットワーク :		

(6) 総合計画について

「総合計画」とは、恵那市総合計画条例（平成26年3月20日 条例第2号）に基づく市の最上位の計画であり、総合的かつ計画的な市の運営を図るための計画です。

これは、行政のみが進める計画ではなく、目指す将来像の実現に向け、市民・地域・企業・各種団体など、様々な主体が参画・連携する計画とします。

また、第3次総合計画では、目標となる期限を明確にするとともに、市民の皆様に広く親しまれる計画となるよう、愛称を「恵那市みらいビジョン2045」とします。

(7) 計画の構成・期間

恵那市みらいビジョン2045（第3次恵那市総合計画）は、「基本構想」と「基本計画」の2層で構成します。

① 基本構想

目指すまちの将来像、基本方針、土地利用構想などを定めます。

② 基本計画

4つの基本方針ごとの取組の柱、取り組み、目標指標などを定めます。



R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030	R13 2031	R14 2032	R15 2033	...	R27 2045
基本構想（20年間）									
基本計画（4年間）				基本計画（4年間）				...	